

会 議 録 (会議経過含む)

会議の名称	平成26年度第2回まちづくり協議会
開催日時	平成26年10月17日(金) 午後6時～
開催場所	善隣館「市民ホール」
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	「出席者名簿」のとおり
<p>会 議 次 第</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 協 議</p> <p>(1) 新総合計画「新創造ビジョン」の策定について</p> <p>(2) その他</p> <p>①由利総合支所庁舎建設について</p> <p>3. 閉 会</p>	
会議の経過	別紙のとおり

◆出席者名簿（敬称略） 出席委員：14名

役職	氏名	出欠	行政出席者名簿	氏名
会 長	三浦 雄一	○	総合政策課長	原田 正雄
副会長	佐藤 イネ子	○	総合政策課参事兼課長補佐	柴田 浩樹
委 員	佐藤 俊弘	○	由利総合支所長	庄司 昭一
委 員	福岡 憲一	○	振興課長	熊谷 甚悦
委 員	木内 繁	○	市民福祉課長	佐藤 繁俊
委 員	木内 鉄廣	—	産業課長	三浦 薫
委 員	照山 カイ	○	建設課長	佐々木 昭
委 員	原田 秋子	—	教育学習課長	豊嶋 喜一
委 員	二見 美代子	○	振興課課長補佐兼班長	熊谷 信幸
委 員	林 淳子	○	振興課主査	鈴木 顕
委 員	石垣 亜紀子	○	振興課主事	石川 晋平
委 員	佐々木 豊子	○		
委 員	佐藤 治	○		
委 員	佐林 宏一	○		
委 員	佐藤 正人	○		
委 員	加藤 富男	○		

平成26年度 第2回 由利まちづくり協議会

と き 平成26年10月17日（金）午後6時～
ところ 善隣館「市民ホール」

1. 開会（進行：熊谷振興課長）

会長あいさつ

皆さんこんばんは。久しぶりの顔合わせとなりますけども、外の方はだいぶ寒くなって参りました。体調にはお気をつけていただきたいと思います。由利の基幹産業であります農業は、ほぼ収穫が終わったようです。米価の下落ということで非常に厳しい状況でございますが、収量の方はやや良ということで、一安心しているところでございます。

また、一方天候を見ますと、今年は人命に関わる風水害が非常に多いという状況の中で、つい最近は、御嶽山の噴火ということで、多大な被害がありました。ふと思えば、昭和49年3月1日鳥海山が噴火しております。あのときは、私も噴煙を見たわけですが、御嶽山のようにはないかと思いますが、改めて火山が我々のすぐそばにあるのだなということで、自然災害に対する備えが必要なのかなと思います。特に、鳥海山など火山の噴火に対しては、理解していないところもありますので、今後地域で何をすればいいかを考えなければいけないと思ったところでございます。

今日は、本庁より市の総合計画「新創造ビジョン」についての説明と、支所新庁舎建設の基本設計の説明があるようですので、皆さんから積極的な意見を出していただいて、今日の会議を有意義に終わりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

●熊谷振興課長

本日の出席委員数は14名であり、由利まちづくり協議会の委員定数16名の2分の1以上の委員が出席しておりますので、由利本荘市まちづくり協議会条例第7条第2項の規定を満たしておりますので、本日の会議が成立しておりますことをご報告いたします。

2. 協議

(1) 新総合計画「新創造ビジョン」の策定について

総合政策課原田課長、総合政策課柴田参事兼課長補佐より資料を基に説明

●三浦雄一会長

質疑応答に入る前に、平成25年度第4回由利まちづくり協議会において、総合計画の基本方針策定にあたってということで、協議をしておりますので、その概要を取りまとめたものを事務局よりご説明いただきたいと思います。

●振興課熊谷課長補佐兼振興班長

今、会長からお話がありましたとおり、今年の3月に平成25年度第4回由利まちづくり協議会において、基本方針策定にあたりまして、由利地域の意見を取りまとめるということで協議をしております。

その結果について、一つ目が、観光の推進ということで、由利原の観光資源の利用や、歴史や史跡関係の建物等を利用した観光客の誘致であります。

二つ目が、生産から加工、販売まで一貫したもので、6次産業の推進による特産品づくり。

三つ目が、ふるさとの味を活用した食のイベントを開催してはどうか、合わせまして、前郷駅前通を利用した朝市の開催などが協議されています。

四つ目が、旧鮎川小学校校舎など歴史的建造物を活用すること。

五つ目が、買い物が困難な人や、通院など子どもから高齢者まで安心して利用できるコミュニティバスの運行。

以上、五つの項目について、皆さんに協議いただいております、ぜひとも実施計画に盛り込んでいただきたいという提案をいただいております。

●三浦雄一会長

直接的に基本計画には結びつかないと思いますが、由利まちづくり協議会の委員の方々がこのようなことを考えているということ、本庁総合政策課でもご理解いただいております。今後の取り扱いをお願いしたいと思います。

●A委員

子どもを産み、育てやすい環境の創造という記載があります。保育園の整備など子どもを産んでからのことではなく、結婚しなければ子どもは産まれないと思います。

市だけではなく、企業とも連携して、女性が結婚し、子どもを作り、育てやすい環境づくりに積極的に取り組んでいただきたい。

●B委員

まちづくりの重要課題の、最重要課題になっている、「人口減少に歯止めをかけること」というところで、出生数の減少による自然減が主な要因となっていますが、必ずしも人口減少の要因が出生数の減少が要因でないと思っています。

私たちの世代は、子育ての時に子どもたちを自由に育てることをずっとやってきています。

学校教育も個性を尊重する方へ教育要領が変わりまして、それから自由という言葉がでてきました。その自由を取り間違えて育ててきたという思いを私自身も感じています。

家業を継ぐことが当たり前だった時代から、自由に職業を選びなさいというように変わってきて、大学に行くことによって家に帰ってこなくてもいいよ、という親が増えました。

だから、帰ってこないの、子どもも増えないのです。出て行った先で産んでいるんです。若者が都会に離れ、孫たちはお盆と正月にだけ帰ってくるという由利本荘市になって来ているのかなと思っています。

これからは学校教育の中でも、子育ての中でも、親はあなたたちを必要としているよと、子どもの必要性を伝えてほしいと思います。

だから、ここの要因の中には、これだけでない子育ての現状も含まれてきているのではないかと思います。

●三浦雄一会長

子育ての支援についてとても大事だとのご意見がありましたので、その辺をより具体的に提示できるように検討いただければと思います。

●C委員

一番の問題が人口減少について書かれていますが、市民満足度Aにランクされている生活環境の良さを由利本荘市のブランドと考えた場合、なにが足りないかといえば、働く機会の

確保ではないでしょうか。働く場所、雇用の機会があれば外に出て行く人も減るし、減るといことは出生率もそれなりに上がっていきたくらうと思ひます。そういった場所があれば、7ページにあります「高齢者支援型」から「高齢者活用型」に転換できるのではないかと思ひます。雇用の場所を確保することが大事なのではないかと思ひます。

●三浦雄一会長

雇用のことには非常に難しい問題があると思ひますが、ぜひ今後、市民にわかりやすく、どういう取り組みをしているか明示していただければと思ひます。

(2) その他 (由利総合支所庁舎建設について)

振興課熊谷課長補佐より資料を基に説明

●三浦雄一会長

ただいま事務局より説明がありましたがこの後、庁舎建設検討部会も開催予定のようですのでよろしくお願ひします。委員会の予定はいつ頃を予定していますか。

●熊谷課長補佐

なるべく早くとは考へておりますが、今日函面が手元に届いたばかりですので、日程調整して通知をしたいと思ひます。ご意見をいただき最終的に決定していきたくと思ひます。

●三浦雄一会長

福祉保健センターとつながるということでしょうか。

●熊谷課長補佐

函面を見ていただきたいのですが、左側に書庫がありますが、こちらに戸をつけまして、壁では接続にはなりません、屋根をつけて雨風をしのげるようにしたいと思ひます。壁で接続すると建築基準法や消防法の抵触などもありますので、現段階ではそのような予定です。

(閉会にあたり庄司支所長より挨拶)

今日は夜の忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

由利本荘市総合計画「新創造ビジョン」の基本構想骨子案が提示されましたが、皆さんから審議していただきまして厚くお礼申し上げます。この基本構想によって由利地域の基本計画前期5カ年分を前から提示しておりますけど、今後とも皆さまの方からいろいろな意見等をいただいきたくと思っております。しかしながら、27年度から合併算定替えて当初予算から5億円の予算が減額されます。このようなことで、今、国会でいろいろ議論されておりますが、安倍首相が地方創世ということで、地方自治体が柔軟に対応できる交付金の創設を検討されているようです。新聞報道では27年から5カ年で2000億円くらいの交付金を予算化するとの報道がされています。しかしながら、いつその交付金が決定されるか不明なため、当初予算には見込めないのかなと思っております。そういった、非常に厳しい状況の中で、今、基本計画を立てなければならぬ。今後、皆さんとともに少ない予算でより良いまちづくりをしていかなければならぬと思っております。

今日午後に、議員と職員が一緒になりまして、市特別顧問の椎川氏より講義がありました。この講義の内容が、地方創世の課題ということで、1時間半にわたりお話しがありました。今日もいろいろ質問等出ておりましたが、人口減少をどうするのか。出生の減少は、2040年には20歳から40歳の女性の方が半減すると推測されています。何を食い止めるのか

という、社会減を押さえなければいけない。若者の都市流出を抑え、ここに戻ってきてもらうこれしかないという話でした。

もう一つは、3つの、まちづくり、人づくり、仕事づくりということでお話しがありました。市長も企業誘致ということで、いろいろ雇用創出のため、誘致の活動をしておりますが、これは日本中の地方自治体が同じことをしているので、なかなか結びつくのが難しいのが現状です。であるならば、「あるものさがし」ということで、現在地域にあるものを利用しながらの会社の設立。そのためには人づくりも必要だというお話しでした。

支所庁舎建設については、基本設計案ということでお示ししましたが、前提にある考え方が、よりコンパクトな、金の掛からない建物で、福祉保健センターの利用を前提にした基本設計でありますので、今日お示したような建物になっております。実施設計に向けて皆さんからいろいろな意見を聞きながら、汲んでいきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げまして、本日のお礼といたします。本日はありがとうございました。

閉会：午後7時